

はんい 森林組合だより

発行 令和6年5月31日
飯伊森林組合 ☎0265-22-0604
〒395-0033 長野県飯田市常盤町30
HP <https://hanishinrin.or.jp>

くみあいスロト
キョウクタイ
お山のほづりん



第171号

組合第四十八回通常総代

第48回通常総代会が 開催されました



去る4月26日飯伊森林組合会議室にて、総代
本人出席84名 書面議決101名 委任状11
名の196名の出席のもと、議長に豊丘村の
西元敏明さんが選任され、審議の結果全11号
議案についてすべて承認されました。

組合長 あいさつ
代表理事組合長 林和弘

第48回総代会に臨みこの一年間、総代の皆様初め組合員の皆様には組合運営に対しまして、ご協力、ご支援いただきましたこと厚く御礼申し上げます。またご来賓の皆様には連休を控えお忙しい中ご臨席を賜り重ねて御礼申し上げます。

においては、大型木造建物が建設され、多量の木材が使用され、木材利用のシンボルとなっていることです。この状況から森林・林業の役割は、環境保全から重要視されるようになっており、我々は期待と希望が大きくなっています。

令和5年度林業を取り巻く情勢は、当組合の木材共販所の実績に表れています。木材取扱量は、17500m³で前年度より1800m³多く扱い、売上総額は、2億1千万円でしたが、この金額は前年度より1700万円少ない結果となりました。ウッドショックの鎮静化です。市場経済に翻弄される林業界の姿です。しかし、こんなことも言われています。林業は、環境保全から木材利用の重要性が高まり、都市部

さて、このような背景のもと令和5年度の組合運営は、間伐から小面積皆伐へシフトして、林業再生課では林産班の活躍により、未利用材を除き24000m³の木材生産を行いました。また、森林整備における森林所有者の負担を軽減するため、市町村のご理解をいただき、助成金が手当てできました。なお、懸案であった木材生産性向上と、施業の安全性を確保するため、高性能機械の導入に際しても一部助成金を頂ける協議もできました。また、林業架線の架設撤去に係る事業補助金が、当組合理事の飯田市長は



議長 西元敏明様

はじめ理事の皆さんと知事要請が実現し、令和6年度の予算に計上されることになりました。このように市町村長のご理解により今年度は市町村行政との連携を築けたことは大きな成果となりました。

なお組合経営面では、総事業取扱高が松茸の不作もあって前年対比1億9千万円の減少で16億6千万円となり、近年における最少額となり、厳しい経営でしたが、道路付け替え工事に伴い倉庫移転処分益があり、赤字決算を免れました。従って税引前当期純利益は1229万円となり計画を

やや上回りました。収益性を求めた経営改善策は、前年度と比較してキノコの取扱いの減少を、請負事業量の確保で補うこととしましたが、十分出来なかったことから厳しい結果となりました。

令和6年度の計画ですが、森林環境税の徴収が始まり、森林経営管理制度の推進が図られることとなります。森林所有者が自ら経営・管理できない森林を市町村に預け、市町村は、これを事業体に経営・管理を委託するものです。この経営・管理を今後の組合経営に生かしていきたいと思えます。また、大きな課題として労働力確保があります。100人を割ってしまった技能職員体制を元に戻したいと思えます。簡単ではありませんが、労働に見合う労働条件の改善、報酬の確保など、さらには他の事業体との請負協定など取り組みたいと思えます。このほか



労働安全への取り組み強化やコンプライアンスの強化など、組合員の負託に応えられるよう全体のレベルアップを図ってまいります。

結びに安定した事業量の確保に向けて、事業地の先行確保や、木質バイオマス等の利用に供する、未利用材の供給を実行していくことなど。南信州地域における課題に対して取り組んでまいります。

この一年間当組合を信頼し支えていただきました、組合員皆様をはじめ、ご支援頂いた多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和6年度 基本方針

1. 組合員のために、組合員の意向に沿って森林経営管理を代行いたします。
2. 林業労働力確保に向けて、緑の雇用制度を活用し、雇用条件の改善を図り技能職員の雇用・養成に努めます。
3. 森林整備事業はじめ、組合技術を活かした事業の受注に努め、経営の安定化に取り組みます。
4. 労働安全の取り組みを強化して労働災害の防止を図ります。
5. 役職員のコンプライアンスの強化及び職員のスキルアップを図り、組合員の負託に応えられるようレベルアップを図ります。

賦課金の廃止及び 総代定数の改正が決定しました。

総代会第6号議案において定款の一部改正について審議され、改正案が決定されましたので、賦課金の廃止及び総代選挙規定における各選挙区における総代の定数が改正されました。

1 賦課金の廃止について

来年、令和7年度から賦課金徴収は廃止いたします。

昭和49年8月に策定された飯伊森林組合設立の基本構想では、『賦課金は、合併後3～5年後を目途に徴収し、逐次全廃していくよう検討する』とあります。設立後まもなく50年を迎えるに際し、この構想を実現いたしました。

2 選挙区別総代定数の改正について

総代数については、正組合員数801人以上の組合では200人以上となっています。当組合は200人としています。

この度選挙区別の総代数について、従来は、組合員数と所有面積の割合を用いて算出していましたが、組合員数が少なくても面積が多いと総代人数が増えることもあり、総代は1人1票の原則があることから、面積については算出基礎としないことといたしました。従って選挙区ごとの正組合員数の割合で算出して改正いたしました。

◎総代の選挙区及び総代の定数

地区	総代定数		
	現在(人)	改正(人)	増減
豊丘	16	24	8
松川	10	10	0
高森	4	4	0
阿智	13	16	3
清内路	5	4	-1
浪合	6	4	-2
売木	6	6	0
旦開	6	8	2
平谷	8	4	-4
飯田	43	44	1
泰阜	8	8	0
阿南	10	14	4
下條	7	10	3
喬木	10	12	2
大鹿	17	8	-9
上	4	4	0
南信濃	12	12	0
天龍	15	8	-7
計	200	200	0

次回、改選時から適用となります。

チェーンソー・刈払機・薪割り機・管理機・発電機

【販売・修理専門店】

製材機・木材加工機・木材乾燥機・木屑焚きバイオマスボイラーの販売・修理



ミズホ鋼機株式会社

飯田市松尾新井7002-1 Tel.(0265)48-5320 Fax.(0265)48-5321

【株飯伊製材工場『ほうりん』の経営状況について】

令和5年度は、創業以来12年を経過しました。社会情勢は、林業界に好影響をもたらしたウッドショックは、沈静化してしまいい、コロナ禍は5類へ移行し規制が緩和されました。しかしながらロシア・ウクライナ紛争はますます激しさを増しており、さらにイスラエルとパレスチナ紛争が勃発し、世界の社会経済状況は、厳しいものとなりました。なお、林業・木材産業では、新設住宅建築戸数の減少が続いており、木材価格の低下傾向となっております。

さて、令和5年度の『ほうりん』の経営状況は、製品販売量が1531㎡となり前年対比10%、売上高は逆に83%

令和5年度経営結果 (単位:千円)	
売上高	140,164
売上原価	122,992
売上運利益	17,172
一般管理費	13,484
営業利益	3,687
営業外利益	296
経常利益	3,984
特別損益	0
税引前当期純益	3,984
法人税等	71
当期純益	3,913

となりました。経営結果として、総売上高は140,164千円、経常利益3,984千円と厳しい結果となりました。製材施設『ほうりん』の目的は、飯田・下伊那地域で生産する木材を、地域で利用するために『南信州の木』として流通を図ることです。製材事業は経営的にかなり困難な事業と言われていますが、株主4社の協力をはじめ、主な取引先等のご支援を得て経営の安定化が引き続き課題です。

組合員のみなさんへ

組合員名義・ご住所などの変更手続きについて

組合員の死亡等による相続加入(名義変更)・脱退についてはご一報ください。追って書類を送らせていただきます。また、住所などに変更があればお知らせください。



担当事務所 または、
本所 総務課 ☎0265-22-0604まで

乾しいたけ
即売会

7/6(土)・7/7(日)

毎年、好評いただいております 乾しいたけの即売会を開催します。詳細につきましては、またちかくなりましたらお問い合わせください。
本所 Tel22-0604

製材工場 ほうりん

2016年SGEC(緑の循環認証会) CoC取得

南信州の木を活かし、木と共に生きる社会づくりを目指します。
南信州木づかいネットワークにご参加ください。

運営 株式会社 飯伊
製材工場ほうりん 〒395-1101 下伊那郡喬木村 400-161
TEL 0265-49-8418 FAX0265-49-8419

南信州の木をご利用下さい

